

# 森と私たちの暮らし

一般社団法人 東京都森林協会  
 発行人 東京都森林協会会長 三谷 清  
 〒190-0181  
 東京都西多摩郡日の出町大久野7852  
 ☎042-597-2881

No.03  
 2019年2月



森林整備サポート認定で整備された山林（檜原村）

## 2019年の抱負

2017年9月の「東京都森林協会」設立登記から、早いもので、もう1年以上が経ちました。設立趣旨に掲げる「東京の森林が自然豊かで多様な環境を維持しながら、継続的に優良材が生産できるよう、森林の保全、林業・木材産業の振興を通じて地域社会の活性化に貢献していくこと」を目指し、手探りで進んできた1年でした。

この間、多摩産材認証制度の運用に関しては、これまでややもすると不十分だった認証手続きの適正化と事務改善に取り組んでまいりましたが、今後は、多摩産材を材料とする二次製品、三次製品の取扱方針を定めることや、これに伴う認証事

業者の範囲の再検討など、かなり制度の根本にかかわる部分の検討を重点的に進めていきたいと考えております。また、東京都の林業において喫緊の課題である林業労働力充足に向けては、当面の対策である他県事業者への協力要請だけでなく、将来を見通した技術者と事業者の育成に向けて取り組みを開始したいと考えております。

新しい年を迎えるにあたり、今後とも、林業関係者皆様の深いご理解とご指導を当協会に賜りますよう、何卒宜しくお願い致します。

東京都森林協会 会長 三谷 清

## とうきょう森づくり 貢献認証制度

平成30年11月22日に都庁特別会議室で、第12回とうきょう森づくり貢献認証制度の認定書・認証書授与式が開催されました。

授与式には9月22日開催の審査会で申請が受理され制度の認証がなされた5事業者が東京都産業労働局農林水産部上林山部長より賞状と副賞が授与されました。

表彰された団体は次のとおりとなります。

### ■森林整備サポート認定部門

◎株式会社 環境ステーション様

### ■建築物等による二酸化炭素固定量認証部門

「日野市立カワセミハウス（新築）」で

◎建築主：日野市様

◎施行者：眞生工業 株式会社様

◎設計者：株式会社 佐野建築研究所様

### ■多摩産材製品二酸化炭素固定量認証部門

什器（ベンチ・チェアの3種類）

◎株式会社 イトーキ様



授与式後の記念撮影

## 第42回全国育樹祭開催

平成30年11月18日、晴天に恵まれた調布市武蔵野の森総合スポーツプラザで全国育樹祭が盛会に開催されました。

第42回目となる全国育樹祭は『育樹から木のある暮らし つないでく』をテーマとし全国から5,000人を超える参加者が集い健全で活力ある森林を育て、次の世代に引き継ぐことを全国に発信し続けることを宣言しました。

式典では東京都林業研究グループ連絡協議会会長の福田珠子氏が公益財団法人国土緑化推進機構が実施する全国育樹活動コンクールで栄えある「農林水産大臣賞」を受賞し表彰されました。



農林水産大臣賞を受賞する福田会長

全国育樹祭開催を記念し、多年に渡り東京都の林業・木材産業振興・森林保全・整備及び緑化の推進に貢献された個人、団体等に対して東京都緑化等功労者表彰も併せて実施されました。

(部門・受賞は下記のとおり)

■『林業・木材産業振興部門』 個人7名・10団体

■『森林整備・森林保全部門』 個人6名・10団体

■『緑化推進部門』 個人3名・9団体



森林・林業・環境機械展示実演会

全国育樹祭の併催行事として、11月17日には『育林交流集会』が青梅市総合体育館で、『全国緑の少年団活動発表大会』が八王子市南大沢文化会館で開催され、多くの参加者が来年の参加を約し、会場を後にしました。

18日～19日の両日には記念行事とし『森林・林業・環境機械展示実演会』が旧都立秋川高等学校跡地で開催され、新たな技術の機器、大型機械の実演に多くの参加者の目をくぎ付けにする両日となりました。

## 多摩産材普及拡大にむけて



多摩産材認証協議会 委員  
有限会社 中嶋材木店  
社長 中嶋 博幸 氏

私は、木材の循環利用や地域材の利用促進が、環境への貢献でもあるということが、ようやく社会に認知されてきたと感じています。東京で製材業を営んでいると、多摩産材の利活用が着実に進んでいることが実感されます。徐々にではありませんが、当社でも毎年、多摩産材製品の生産・販売量が着実に増えています。

林業と製材業は、木材生産業として一体を成すものです。産業全体として一番大事なことは、川上から川下までバランスよく拡大できるよう、それぞれが努力することです。そのための環境整備が不可欠だと思いますので、行政にもそうした観点からの取り組みを望みます。

そして、個々の事業体においては、それぞれの立場で、品質の確保・向上と安定供給を強く意識した取り組みを行うことが必要だと思います。

本来、木材の用途は多岐にわたり、住宅だけでなく、公共施設や商業施設などでも、今後は活躍の場が増えると期待していますが、品質と安定供給が担保されなければ新たな需要の開拓も見込めません。

製材業者としては、これまでのように経験で語る品質だけではなく、設計者が木材を採用しやすいような数値や品質管理方法なども明示して、新たな木材利用の場を見出していく事が重要であると思います。



多摩産材認証協議会 委員  
有限会社 沖倉製材所  
社長 沖倉 喜彦 氏

東京の森は、良材の宝庫です！

私が26歳の時に家業である沖倉製材所に入社してから30年強、まさに平成の時代を製材一筋に生き抜いてきた感があります。当時は近くの山の木々を使った建築材や造作材・建具材等の納材が盛んで、丸太を吟味して適材適所に活かす先代社長の腕を見て、いつかは自分も習得したいという思いで日々取り組んでいました。次第に木材に魅了され、今では木に第二の生命を与え、木の愛用者にお届けすることを使命としております。

戦後、全国で大量のスギと桧が植林され、現在、多摩地域にもたくさんの良材が育っています。しかし木材価格の低下により、伐期を迎えた山々の木は放置され、森の荒廃は刻々と深刻さを増しています。

私たちが今できる最善の策は、たくさんの木を使うことです。

近場の多摩産材を使うことは、地元の資源を生かし、地球環境への負荷を低減に役立ちます。多摩産材の家づくりを推進する優良工務店との連携により「地産地消」の取り組みや木製品の商品化にも注力し、これからも、良材の宝庫を皆様につないでいく決意です。



## 東京都森林事務所からお知らせ 「東京型小型ウインチ付きグラップル」

都では平成26年度から多摩地域の状況を踏まえた「東京型低コスト林業技術の実証的開発」を進めてきました。

昨年度は、搬出間伐や小規模皆伐の低コスト化を図るため、東京都森林組合の協力を得て「東京型小型ウインチ付きグラップル」の開発・改良整備を行いました。

この機械は、全国育樹祭併催記念行事として、11 / 18 ~ 19に開催された「2018森林林業・環境機械展示実演会」にも展示されました。機械の主な特徴としては、小型ながらも強い牽引力のウインチを装備し、4tトラックへの積載も可能なことです。



今後はより安全な操作方法等について知見を集約し、関心のある事業者や個人の方々に対して普及していく予定ですので、関心がある場合は、森林事務所普及担当までご連絡ください。

**連絡先 森林事務所森林産業課普及担当**  
TEL 0428 (22) 1163

## 高品質な木材生産のための 森林づくりを支援します

多摩産材の活用を図るにあたり、家具の製作や木造住宅の建築には高品質な木材が求められます。

そこで、東京都では、森林整備事業の他に、平成29年度から、高品質な木材生産のため、きめ細かな保育管理を実施される森林所有者等に支援を行っています。

### 【高品質木材のための保育管理事業】

#### 1 事業内容

##### (1) 対象森林

生育状況等が良好な i から iv までを満たす森林

- i 現況で、林齢に応じた植栽本数が確保されている森林
- ii-1 3 齢級以上の森林では、概ね60%以上通直で形質が良好、かつ概ね80%以上落石、病虫害等による外傷が少ない、かつ概ね60%以上、林冠が充実しており、将来の成長が見込めると認められる森林
- ii-2 2 齢級以下の森林では、植栽時から、下刈り、雪起し等が適切に行われ、生育状況が概ね良好な森林
- iii 既設又は計画の林道や作業道から対象森林の入口まで概ね500m以内の森林
- iv その他、不適とみられる点がない森林

##### (2) 森林整備補助事業とここが違います

- ① 森林経営計画を立てていなくても、査定係数170の高率補助です。
- ② 間伐実施後5年を経過しなくても、次回の間伐ができます。間伐率10%も対象になります。
- ③ 枝打ちは、45年生以下までできます。枝打ち高さは6.5m ~ 13.5mもできます。

#### 2 問い合わせ先

補助率、補助対象者、応募方法など詳しくは、森林事務所森林産業課造林担当（大野、篠原）にお気軽にご相談ください。

TEL 0428 (22) 1159

青梅市河辺町6-4-1 青梅合同庁舎2階